

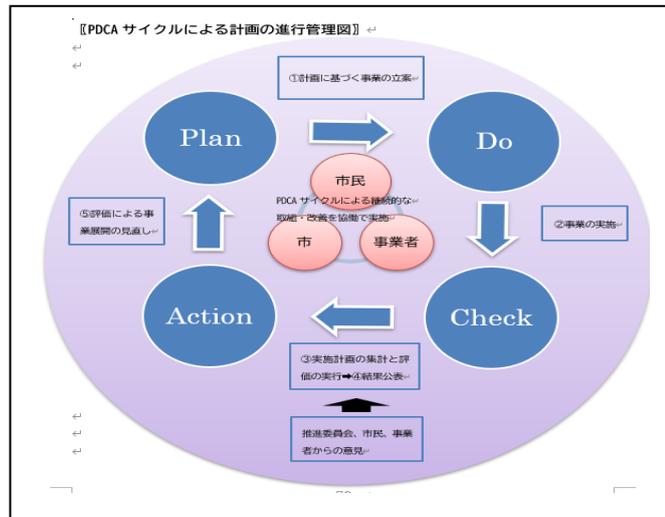
第5次佐倉市地域福祉計画の進行管理について

福祉部社会福祉課

1. 趣旨

計画の進行管理は、第5次地域福祉計画書「第5章(P79～)計画の進行管理」にて記載のとおり、予め設定した指標を参考に「佐倉市地域福祉計画推進委員会」(以下委員会という)において、評価をいただき、その結果を下表の通りPDCAサイクルに基づき実施するものとされています。

このため、同計画の「進行管理シート」を作成し、これを基に、適正な進行管理を進めるものとします。



2. 計画の体系と進行管理

同計画は、基本理念「一人ひとりがともにはぐくむお互いさまの地域づくり」実現のために、5つの基本目標とその基本目標の下に19の施策が位置づけられ、それぞれの施策には、主な取り組みとして、さらに71の事業が設定されています。(計画書P31)⇒

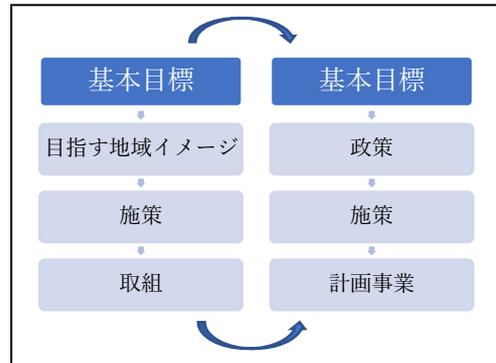
各事業には、それぞれ指標が設定されていますので、進行管理については、これらの指標を、年度単位で捕捉しながら、進めていくこととします。

なお今次地域福祉計画では、これら基本施策とは別に、重点施策を位置づけていますが、当該事業については、別に報告を行うものとします。



3. 進行管理シートによる進捗管理

計画で定めた「基本目標」・「目指す地域イメージ」・「施策」・「取組」を、下記のとおり、それぞれ「基本目標」・「政策」・「施策」・「計画事業」と置き換え、「計画事業」に設定された指標を年度単位で捕捉し、その結果について「同委員会」に報告し、総合的な評価を進めつつ、適宜見直しを進めることとします。



年度単位での事業の具体的な進捗状況の報告については、各所管課から例1（事業担当課提出用）の通り事業実績の報告を受け、それらを社会福祉課でとりまとめ、一括して同委員会へ例2（社会福祉課整理用）の通り報告するものとして

4. 重点施策の進行管理

今次計画では、上記施策・事業とは別に、重点施策として、「訪問支援（アウトリーチ）型の相談支援体制を推進します：計画書 P72～」を位置づけています。本施策は、市の委託事業である生活困窮者自立支援事業の中において今年度から実施する新規の取組であり、計画の目玉事業ともいえるべきものであることから、より詳細な報告を求めるものとして、目下の受託事業者は（福）佐倉市社会福祉協議会であり、市と市社協は事務局連絡会議を概ね月に1回実施していることから、当面は同会議においてアウトリーチの活動記録・報告を受けることとし、これを別様式（例3）により年次にてとりまとめ、報告するものとして

▼重点施策の位置づけ

基本目標 5	地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制を整備します。
政策 5	誰もが困りごとを気軽に相談できる場所（人）が身近にあり、多様な主体による、分野を超えた相談支援が行われるまちを目指します。
施策（4） ☆重点施策	生活困窮世帯等への支援 訪問支援（アウトリーチ）型の相談支援体制を推進します。
計画事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者自立相談支援 ・自ら相談機関に出向くことが困難な場合等に対応する相談支援体制の整備

5. 作業スケジュール

計画の進行管理における年間の大まかなスケジュールは下記の通りとし、適宜見直すものとします。

所属等 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
社会福祉課 ・各所属への前年度実績値報告依頼 ・実績値取り纏め、推進委員会送付 ・推進委員会評価フィードバック ・計画見直し検討 ・地域福祉フォーラムでの計画発信 ・重点事業実施 ・重点事業来年度予算要望、検討、協議	→	→		◎	→	→	→	→		→		◎
事業担当課 ・前年度計画事業実績値報告 ・担当事業実施	→											→
推進委員会 ・前年度計画事業評価・提言		→		◎								◎

例 1 (計画進行管理シート：担当課提出用)

基本目標 1	権利擁護と人権尊重の取組
現状の課題	平等や人権といった人権擁護の意識が十分に浸透していない
基本方針	「権利擁護」と「人権尊重」の取組推進

施策・事業名	権利擁護の推進・成年後見制度の周知啓発の強化
担当課	高齢者福祉課・障害福祉課
事業概要	市 HP、「こうほう佐倉」による成年後見制度、成年後見制度利用支援事業（申立費用等の助成）の普及啓発、権利擁護支援の「地域連携ネットワーク」の協力者を拡大するための研修等に取り組みます。
取組状況 (令和 6 年度)	<p><計画指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市成年後見支援センターによる相談会開催 [実施➡.....] ・専門家等による講演会の実施 [実施➡.....] <p><取組概要></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>具体的に記載 例) ●●会議●回実施 参加者数○名 etc.</p> </div> <p><成果等></p>
何れかに チェック	<p><自己点検・評価></p> <p><input type="checkbox"/>十分達成 <input type="checkbox"/>概ね達成 <input type="checkbox"/>不十分 <input type="checkbox"/>未実施</p> <p>※不十分、未実施だった場合の理由</p>
	<次年度以降の課題及び改善点>

指標の具
体 (値)

出来るだ
け具体的
に

例 2 (計画進行管理シート：社会福祉課取り纏め)

基本目標 I 権利擁護と人権尊重の取組 目指すべき将来イメージ

政策 1

住み慣れた地域で、個性や権利が尊重され、安心して穏やかな生活を送ることができるまちを目指します。

計画書：32～37 頁



施策 1

□ 権利擁護の推進

権利擁護支援のため、認知症や知的障害等により財産管理及び日常生活支援を要する方が適切な福祉サービスを利用できるよう、成年後見制度の周知及び体制の整備を進めます。

計画事業	取組指標 (現状⇒目標)	5	6	7	8	9 (年度)	Score	
1-1-1 成年後見制度の周知啓発 高 障	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見支援センターの相談会 (実施⇒実施継続) 専門家等による講演会の実施 (実施⇒実施継続) 	実施 ●					実施	
		実施 ●					実施	

<取組状況>

<取組による成果及び課題等>

担当課 自己分析欄

<推進委員会からの意見>

推進委員会委員からの意見集約
⇒担当課へフィードバック

<総合評価>

A 設定した指標 (数値) 以上の成果が出ている
B 計画通りに事業が進んでいる
C 予定通り事業が進んでいる。
D 実施していない。

取組状況の報告及び推進委員会からの意見を集約して、総合的な評価を行う
例 4 集約※

指標達成値 (%)

進捗評価 (○△×)

担当課事業報告内容欄

包括的施策

☆重点施策

訪問支援（アウトリーチ）型の相談支援体制を推進します。

計画書：72～77頁



具体の
施策

□生活困窮世帯
等への支援

孤独・孤立状態にある方や、生活困窮者を訪問支援（アウトリーチ）により拾い上げ、支援を進めるものとします。

事業

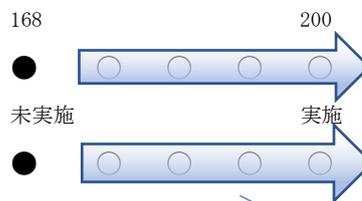
計画事業

取組指標（現状⇒目標）

5 6 7 8 9 (年度) Score

6-1-1
生活困窮者自立
相談支援

- 生活困窮者支援プラン決定件数（168件⇒200件）
- 生活困窮者自立支援相談者のうち、就労に至った人の定着率（未実施⇒実施）



指標達成
値 (%)

社

<取組状況>

※日報報告内容

- 活動時間、活動分類（個別支援、地域支援）、新規・継続、場所（圏域別）、目的（ひきこもり相談、家計相談、就労相談、その他）、繋ぎ先、その他

進捗評
価 (○△
×)

※日報取
り纏め

社会福祉課
自己分析欄

<取組による成果及び課題等>

<推進委員会からの意見>

推進委員会委員からの意見集約
⇒担当課へフィードバック

<総合評価>

- A 設定した指標（数値）以上の成果が出ている
- B 計画通りに事業が進んでいる
- C 予定通り事業が進んでいない。
- D 実施していない

取組状況の報告及び推進委員会からの意見を集約して、総合的な評価を行う
例4集約※

例 4 (計画事業目標達成度一覧)

計画区分	施策	目標達成度 (%)	総合評価	総評
基本事業	1-1-1	○○%		
	1-1-2	△□%		
	1-1-3	□○%		
	:			
	:			
重点事業	6-1-1	○○%		
	6-1-2	□○%		

【評価手順】

